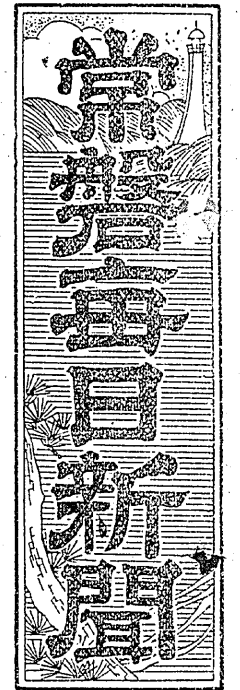


刊夕日一廿月二十



定価 一紙五錢 一月五拾五錢 三月一拾五拾五錢 半年二拾五拾五錢 一年四拾五拾五錢  
 発行所 常警日新聞社 東京市本町三丁目  
 電話 六二〇〇  
 印刷所 常警日新聞印刷株式会社 東京市本町三丁目  
 電話 六二〇〇

陣中想出話 (五)

平町出身  
 歩兵第十九聯隊 水野重光  
 第三中隊 隊員

或る日の偵察 (4)

中隊長曰「皆無事か小隊長は? 山田一等兵に逢はなかつたか」と、且「ハイ申譯ありません、日本人が一名負傷しました、其の他は皆無事です」急を聞いて五里もある威虎嶺から手押トロに分乗して小隊長殿には手許の兵力を率ひて部下の危急を救はんと己に自分達の後を追つて出發して居るんだ、振り返つて見ると山の彼方に見えた火の手も小隊長殿の過ぎし跡か、日頃から部下思ひの小隊長殿部下からは嚴父の如く親はれて居る亦人情深い、一度決心すれば如何なる事も貫徹せ

ず位置かぬ、今自分達を捜して山中に入つて居る敵と遭遇して今頃戦斗中ではあるまいか。  
 中隊長殿に戦況を二通り報告した、何くれと御世話下さる中隊長に感謝しながら負傷者の手當をなした。

ノット

脂肪がギラ／＼と顔にういてあかねけのしない方は毎日牛乳を脱脂綿につけてふくと美しい肌になります少し氣ながにつけてますと無駄な脂肪がとれてきれいな肌になります

「オーイ」アツ小隊長殿が歸られた、「日は無事かマダ歸つて居らんか」小隊長殿は崖の下から呼んでゐる、萬歳!!! 部下思ひの小

潮朝第五十集記念句集 (2)

昭和七年十二月五日潮聲例會披露

山莊の静ささあり五十雀  
 冬の月五重の塔の影凄し  
 不足なき五十身そらで菊作り  
 一ト本の菊や五暢に咲き盛る  
 月を仰ぎて五右工門風呂にひたりけり  
 枯芦に五位驚腰を埋めけり  
 潮の聲唄ふ千鳥の五羽十羽  
 十餘りひく福引の皆五等  
 人生五十無爲にして冬籠  
 第五十集記念自祝  
 人並に重ねて着たる布子かな

鶴 歩  
 眞砂 常  
 香 雨  
 竹 年  
 砂 九  
 芳 月  
 欽 一  
 武 門  
 松 堂  
 松 堂

二明日の献立二

【朝】煎り卵の花—煎り卵の花 さつま芋 麻の實  
 【晝】さしみ—才形まぐろ わさび醬油あへ やまかけ  
 【晚】茶わん—かき豆腐 おろし生姜 薄くす

▼水と淨水薬

九月八日より十五日まで匪賊討伐も無事に終り停車場に着き休憩の時某初年兵君が走り行き水筒に水を入れて呑んで居る、其れを見た分隊長は云ふた、オーイ其ノ水ニ淨水薬ヲ入レタカ「水ノ消毒ヲシタノガ」初年兵君答へて曰く「ハイ未タ入レマセンデシタ」終リ分隊長「何時入レルノダ」初年兵君嚴然として曰く「ハイ今スグ自分ノはらニ入レマス」終リ

修理部 ●記念一割引特賣

伸好堂選セントラル萬年筆  
 ハーモニイ式 一・五〇錢ヨリ  
 標準型 一・〇〇錢ヨリ  
 御買求めに絶好のチャンス  
 豊富な品より御氣に召す御選定を!  
 播穂小路 伸好堂  
 電話(呼)五三八番  
 期間 12・15  
 1・15



玉屋洋品店  
 平町四町通電話六五六番

内科 難波睦  
 醫學博士  
 電話五〇二番

金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します  
 平町二丁目(三幸堂跡)  
 根本時計店  
 電話六〇七番

貸切の御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ  
 マツサキ  
 眞先ニ……………(マツサキ)  
 三九ニタクシーへ!!!

木村外科醫院

花柳科専門  
 入院自炊の便あり  
 平町五丁目橋際  
 電話三〇九番

漆器も需要季に入り俄然暴騰致しました  
 絶好無二の御買時  
 在庫品見越買附品豊富  
 ◇平素ノ御引立ヲ衷心ヨリ感謝シ  
 ◇大奉仕精神ヲ徹底セシムベク  
 ◇在庫品全部ノ從前値段販賣ノ一大奉仕が  
 お正月の御用意お屠蘇具が  
 種々入荷致しました。  
 専門漆器平町に只一軒の……

ドコヨリモ。ヨイシナラ  
 ドコヨリモ。ヤスクワル。ヌリモノミセ  
 共榮漆器店  
 各國産漆器専門卸小賣  
 (平町三丁目36元郵便局裏通)  
 店員募集 十二三才…小店員優遇す  
 店員募集 三十才迄…外交員

咽喉科専門

應入院 山内醫院  
 平町四町七〇番地  
 醫學士 山内享吉  
 電話六九一

# 失業救済工事の

## 人夫が不平均

### 狩り出しに骨折る向と

### 有り餘つて困る方面と

### 此の振り分けに一思索

既報—平土木監督所管下の失業者、貧農の救済土木事業は平町の新川改修工事を始め郡内全町村とも

豫定通り 進捗し既に川前、夏井の兩村は工事竣成を見てゐるが平、湯本、内郷、好間等を除いた大半の町村は糸價米價の暴騰で昨今貧農階級の

懐工合が よくなつた爲めか次第に人夫志願者が減つて磐崎村の如き藤原川改修に毎日二百人以上を使役する筈に拘らず現在では三十人程度の人夫があるだけ然も村當きよくが鐘大鼓入りで狩り出してゐてさへ日々に作業人夫が減じてゐる

有様此の他縣營業業として

着工され てる入遠野村内の御齊所峠改修工事

も同様の状態目下の處工事に行動してゐる一方平、内郷、好間、湯本の如きは登録人夫各も千名近いが毎日平均百人程度の使役では全部の匡救が困難に湯本町の如きは此處

數日中に 工事が完成する筈だから又ぞろ千人近い失業群が生み出されるので土木監督所當きよくでは此等未就業の失業群を希望者の少い磐崎、入遠野其の他の町村に振り向け様と奔走してゐる

## けふの區長會議

### 相携へて町勢の發展に

### 貢献したいと町長挨拶

昨報平町役場では本日午後一時より會議室に於いて青沼町長就任第一回の區長會議を開き町制事務の連絡に就き協議したが協議事項左の如くである

- 一 行政區備付諸帳簿の件
- 一 法令通知に關する件
- 一 町會議員選舉資格者に關する件
- 一 貧困者調査の件

各種調査照會の件

十二月一日現在國富調査の件

納税改善に關する件

徴兵適齡者及就學兒童の件

道路溝渠堤塘使用の件

傳染病豫防に關する件

汚物掃除の件

戸籍寄留の件

勞働登録者の件

夜警實施の件

新年祝賀會勸誘の件

上水道に關する件

尚ほ席上青沼町長の挨拶は左記の如くである  
本日は區長諸君の御集りを願ひました處御多忙中にも拘らず指定の時日に御參集を頂きましたことは誠に悦ぶ所でありませう  
行政區長は町村制第六十八條の規定に依り處務便宜の爲設置するものでありまして即ち町長の補助機關として自治に關する諸般の事務に當つて頂戴する公務員であります。従つて毎年二回又は三回

位會合を願ひ自治の研究其の他事務上の連絡を保ち町政の進展を圖りたいと考へて居たのでありませう。是迄も時々區長會を開かれたことがありと思ひますが偶々不肖去る十月十六日町長に選舉せられ就任いたしましたのでこゝに第一回の區長會を開きましたのであります不肖は自治行政の事務に離れて以來十有餘年になりますから其の後法令の改廢取扱手續の變更に依

## 鮫川江復活寄附

### 小名濱半減を申出

#### 是れが爲め總會紛糾か

#### に就いて明廿二日午後七時

石城鮫川疏水組合の復活に就いては小名濱町が同疏水を水道水源地と爲すの關係より二萬圓の寄附を自發的に申出たが去る十九日高木小名濱助役は組合に出頭し小名濱港の割當寄附額二十餘萬圓の支出に悩まされて居る折柄疏水組合への寄附金を半減せられ度いと申出たが組合でも今となつては豫算編成上非常な迷惑なので申出を拒絶する模様であり復活の總會は来る廿四五日頃開かれる豫定なので相當紛糾を見るであらうと

## 救済資金

### 配分協議

#### 平町役場で

既報平町役場では過般募集した貧困者救済資金の配分

より町役場會議室に於いて協議會を開くと

## 昨日平第一校の

### 珠算競技優勝兒

平第一小學校にては昨日午前九時より第十八回珠算競技會を開催したが選手は尋常科第五學年以上各學級四名宛四十名にて成績は左の如くである

- 平第一小學校にては昨日午前九時より第十八回珠算競技會を開催したが選手は尋常科第五學年以上各學級四名宛四十名にて成績は左の如くである
- (百点)高二ノ一寺門友巳
- 清水久吾(九八点)六ノ一
- 志賀正義 高二ノ一石井
- 實 高一ノ一瀬戸利雄
- 同二高野雅夫(九五点)五
- ノ三安齊光男 高二ノ二
- 山崎利光 同一渡邊三好
- (九三点)六ノ一中野義廣
- 吉田浩 高二ノ二齊藤武
- 坂本久一郎 同一ノ

## 平町人事

### 回出生

△古鍛冶町九二 齊藤正一 氏二女イサ

△長橋町四一 當時北海道旭川市宮下通一丁目渡邊孝(七ツ)



入金 十二圓 料錢 六圓 平館 電話 六六四

本年掉尾を飾る大奉仕平全町商店聯合お客様デー！  
外人舞踊と特作大映畫公開  
お客様優待券は各商店にて無料差上ります  
十二月廿二日より  
廿八日迄大公開

レビエーの精華ジャズの権化西歐ロシヤの美姫、肉體空中亂舞ゴールデンスタール舞踊團  
美姫 ニーナピアピッチ嬢  
肉體美ウイアーデネソリ氏  
日活映畫時代劇  
香椎の馬方  
連續第四  
怪人の襲撃  
現代劇  
日活アラモード  
漫畫  
馬鹿八と城主様

# 初日の年賀状

## 昨年の四倍といふ 素晴らしい大激増

### 景気は此の賀状洪水から

好況来！の聲に湧き上る活  
氣を孕んで來年こそは黄金  
時代への上向線を飛躍する  
ものとの

### 豫想下

に今待望の一  
九三三年の耀しいスタート  
を迎えんと極度の緊張と喜  
色に包まれてゐる平地方の  
歳晚風景……中でも例年數  
十萬の賀状の洪水に見舞は  
れる平郵便局では好況来!!  
の聲が反映して今年の取扱  
賀状は激増するものと見て  
早くも

### 去月中旬

から戸石局長  
以下百數十名の局員が總動  
員臨時事務員十七名、臨時  
配達夫十名を増員一切の戰  
備を整へたが愈々昨日戰塵

## 局長もビツクリ 局内は宛然戰場

此分では六十萬突發か

別項取扱第一日から前年  
の記録を破る事四倍以上合  
計六千四百通の賀状洪水が  
襲來した平郵便局は全局員  
が戰場さながらの

大繁忙を極めてゐる  
が戸石局長は語る「前年よ

の火蓋を切つた結果取扱第  
一日は合計六千四百餘通、  
昨年の

### 第一日

受付千三百通  
に對して驚くべし四倍以上  
の五千百通の大激増と言ふ  
豪勢さ……此の分で行けば  
昨年の總取扱數受付二十八  
萬五千通配達二十一萬六千  
通は問題でなく黄金時代に  
描いた百萬通突破の夢も實  
現しそうだ……とある

### 好況は

此處から重苦  
しい非常時風に蔽はれてゐ  
た平地方も此の素晴しい平  
局の賀状洪水を皮切りに躍  
進途上を辿る事と豫想され  
る

記録を破る六十萬以  
上の數字を示すでせうから  
例年通り取扱の末期になつ  
て一度に賀状の洪水が押寄  
せては或は幾分遅延して元  
且の配達が出来ないと言ふ  
様な事にもなるかも知れま  
せんから

### 記録を

破る六十萬以  
上の數字を示すでせうから  
例年通り取扱の末期になつ  
て一度に賀状の洪水が押寄  
せては或は幾分遅延して元  
且の配達が出来ないと言ふ  
様な事にもなるかも知れま  
せんから

### 一般でも

## 別れ話しに 憤慨し馴染の 娼妓滅ッ太打

### 娼妓滅ッ太打

平町鎌田町自轉車業山川勇  
(三)は昨夜十二時頃同町内  
遊廓住吉樓榭山セン方に  
登樓し馴染を重ねた娼妓  
金也(九)を相方遊興中女か  
ら別れ話を持出されて憤慨  
の餘り金也を滅茶々に毆  
り付け平署に捕はれた

### 平裁判たより

△石城郡内郷村大字宮宇金  
坂二十一番地料理店三浦伊  
之助(四)は本年八月十日同  
村高橋賢之助を棒で毆り左  
背部に全治約二週間を要す  
る創傷を與へ傷害罪として

明日の天気  
今晩も明日も南東  
風曇り天気次第に  
よくなる

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)  
お話「ネオン管」河野元彦  
後七、三〇 講演「多門師  
團の凱旋を」宮城縣知事  
三邊長治

### 明日の部

前九、一〇 料理献立 小  
野玉枝  
前一〇、三〇 家庭講座  
「家庭に於ける工業常識」  
津田信良  
後一〇、〇五 浪花節 東家  
右樂遊  
後二、〇〇 家庭大學講座  
「倫理學」早大講師大島正  
徳  
後五、〇〇 受験講座  
「幾何學」高見豊  
後六、〇〇 子供の時間

### 東京市

△東京市荒川區尾久町二町  
目四十八番地紙行商三富榮  
次(三)に對する窃盜事件は  
早出を宣傳してゐる

### 山林を賣り飛す

宇都宮に高飛潜伏中捕る  
堂に於て開れるが講師は今  
泉薫氏である

### 實父の印を亂用

石城郡飯野村宇下荒川居住  
農志賀傳内(三)は去る十六  
日實父の實印を亂用して山  
林三町歩を六百餘圓に賣飛  
し行衛を晦したので實父の  
願出により平署が各地に手  
配中昨日宇都宮市旭町一  
町目の友人を頼り潜伏中を  
地元署員に檢舉された旨昨  
夜平署に通牒があつた

### 裁判所の

平區裁  
ボーナナス 判所で  
は本日全所員に對しボーナ  
ナスの辭令を交附したが判檢  
事十割判任官十五割雇員二  
十割である

### 唱歌遊戯研究

石城  
郡下小學校教員第三回唱歌  
遊戯研究會は來る一月五六  
七の三日間植田町小學校講

### 湯本町會召集

石城  
郡湯本町役場では來る廿四  
日終町會を召集七年度追加  
豫算の件及び匡救事業竣工  
後の失業者救濟策等を附議  
すると

### 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△女中 二十五迄 尋卒  
給料面談(植田町某)  
△子守 七才 尋卒 月  
三割(平町某)  
△配達集金 十九才 尋卒  
給料歩合(平町某)  
△書生 十八才 高卒 給  
料面談(平町某辯護士)  
回職を求める方  
△事務員 廿一才 中學卒  
給料面談(内郷村某)  
△鍛冶工 三十才 尋卒  
給料面談(仙臺市某)  
△女中 四十二才 無學  
給料面談(平町某)  
△測量 二十一才 工業士  
木科卒業 給料面談(内  
郷村某)

### 湯本軍事講演

石城  
郡湯本町入山炭礦在郷軍人  
分會では去る十九日午後六  
時より同礦自治會館に於い  
て軍事講演會を催したが講  
師は白石武雄氏であつたと

### 裁判所の

平區裁  
ボーナナス 判所で  
は本日全所員に對しボーナ  
ナスの辭令を交附したが判檢  
事十割判任官十五割雇員二  
十割である

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百三十席 平手造酒

歴に疵持つ富五郎

勢力の富五郎は子分榮助と共に櫻井の町にかゝつた小櫻組の芝居を見に入つたが興行師鐵の子分に頼冠りの内を覗かれて萬歳の親分ですかと云はれ、露顯したがつたと思つたが今更さうでない、とも云へない

富「大層入るな」

○「ヘエ有難ふございます今日は三日目の返り初日、いゝ按排に大入りでございます」

富「それは結構だ、どうぞこれを皆に分けて遣つてくん」

金を三兩包んで出した

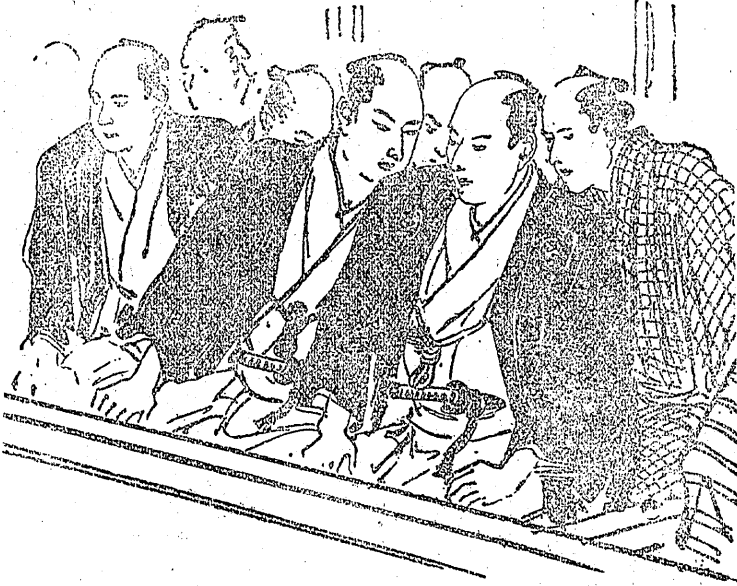
○「濟みませぬね、えこんな物を頂さましては、何れ親分が御禮に出ますが、當時親分は何處においでございます」

富「今の處では居所も定らねえ、昨日は東、今日は西」

○「とんだ雷でございます萬歳の親分がお出でなすつた、西の棧敷が空いてゐる筈だ御案内しろ」

△「此方へお出で下さいまし」

棧敷へ通したが興行師の若い者は勢力が今お深ね者とは知らない、飯岡と喧嘩



をしたと云ふ事は聞いてゐるが、八州役人やその附屬の目明しが探ねてゐるとは思ひませぬ

れへ酒を添へて持つて來た二百加か三百加出せばお客様で見られる芝居であるが、俠客と云はれる身とてこんな芝居を見るにも三兩遣ふ今舞臺は忠臣蔵三段目喧嘩場、鯛だ、鯛侍などと直直が判官を罵る見物は

とこの四段目で判官をしたは弟子の梅五郎、腹を切つて落入るときに左の手に短刀を持つて倒れた、これは由良之助が困る、右に持つて居なければ取り上げるに困る、オイ梅五郎右に持つて云つたが肯かない、菊五郎は腹を立て、梅五郎を

イ榮助役人は此方を見てゐるが俺の來てゐるを知つたものであらう、それに目明しも従いて居る、知れては此處は容易に出られぬえ、榮「何うしませう」

御勘辨下さいまし』  
富「ここで結構だ、あゝ大した入だ、これ程來れば親方は福々だ」

に俺の先祖が悪くとも芝居でする程ではあるまいと云つたが之れはもつとも至極

富「先で知れねえなどは云へ面を見られては面倒だ」と手拭を出して又頼冠りを

## 梅毒 淋病

淋病 皮膚病 婦人病 胃性病

松村 院 醫科 町南平

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由に讀める

川崎 文庫

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電話一〇〇

### 内科・小兒科・花柳病科

# 藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の源泉に化學的操作用を加へたる草津温泉の素

定價 二〇〇瓦入 五日分 五十錢  
二五〇瓦入 十二日分 一〇〇圓  
六〇〇瓦入 凡三十日分 二〇〇圓

伊藤軍二商店 代理店 石炭商

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な

靈藥ムテキ

阿康藥業

平町古鍛冶町一〇 電話四四番